

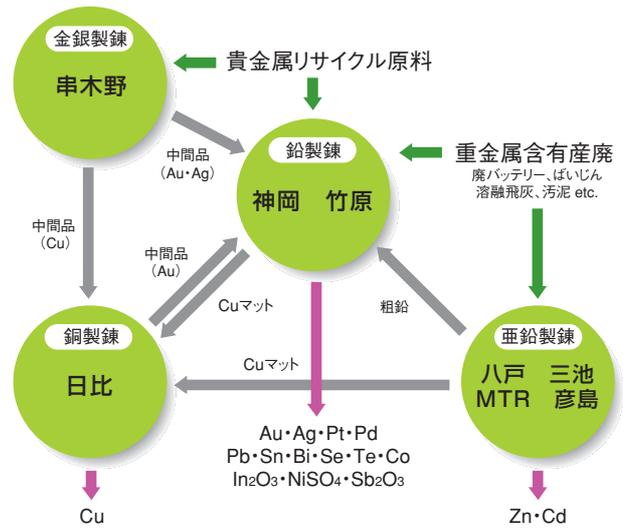
環境関連事業の展開 (その1)

資源リサイクル事業

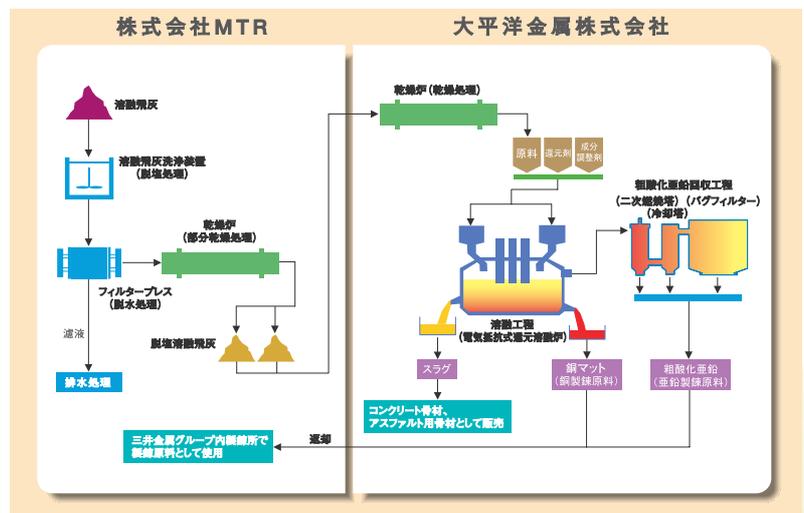
三井金属グループは環境事業を資源リサイクルの一環として位置付け、廃棄物処理から汚染土壌の浄化リサイクルまで取り組んでおります。当社グループは日本全国に7つの製錬所を有しており、各製錬所それぞれの特徴を活かしたリサイクルシステムで多種多様な金属資源を分離・回収し、再資源化することが出来ます。

本書では、その中の最新の事業所についてご紹介いたします。

全国での溶融飛灰の広域的なリサイクルを推進するために、2005年5月に八戸製錬所内に新会社(株)MTRを設立いたしました。家庭や企業からの廃棄物を処理する全国各地の溶融炉施設では高温処理と共に溶融飛灰というばいじんが発生いたします。この中には亜鉛や銅などの有用金属が含まれ、リサイクル原料のひとつとなります。この灰に含まれる塩素分を溶解除去した脱塩溶融飛灰を、隣接する大太平洋金属(株)に供給し、そこで溶解、分離された亜鉛・鉛の濃縮した粗酸化亜鉛と銅マットを三井金属グループでリサイクルいたします。この工程は有害物排出ゼロの環境負荷のない仕組みとなっております。このリサイクル技術は、地元のみならず各地の自治体などにも注目されております。



三井金属グループのリサイクルシステムのイメージ



(株)MTRが関る溶融飛灰処理フロー



(株)MTR 工場外観



(株)MTR 脱塩処理設備